

ビジネスプロデュース
Business Produce

DX 推進人材育成

新規事業・業務改善のための
生成 AI 活用データサイエンス研修

1・経済産業省：生成AI時代のデジタル人材育成の取組について



「生成AI時代のDX推進に必要な人材・スキルの考え方2024」～変革のための生成AIへの向かい方～を取りまとめました。 2024年6月28日

【生成AIの可能性】

- ・ 生成AIは日本の生産性や付加価値の向上等を通じて大きなビジネス機会を引き出す可能性がある。また、日本における生成AI（基盤モデル）の開発力を強化していくことで更なるイノベーションを創出し、様々な社会課題の解決に資する可能性に繋がることも見込まれる。
- ・ 持続可能性の観点から、生成AIによって業務の高度化・効率化等が実現され、経済／社会／環境面での様々な利点が想定される。

デジタルスキル標準改定の考え方

■ 生成AIに関する改訂

- ✓ 急速に普及する生成AIは、各企業におけるDXの進展を加速させると考えられ、企業の競争力を向上させる可能性がある。
- ✓ ビジネスパーソンに求められるスキルの変化に対応したDXリテラシー標準の改訂（2023年8月）に続き、**DXを推進する人材に求められる行動等についてDX推進スキル標準への必要な変更（補記の追加等）**を行った。
- ✓ 補記においては、実際に生成AIを用いる際には**権利侵害・情報漏洩、倫理的な問題**等が無いよう十分に注意を払う必要があることも含む内容とした。
- ✓ なお、本改訂は**現時点での生成AIの状況に基づき**行っており、技術発展・法整備等の状況の変化に伴い、継続的に見直すものとする。

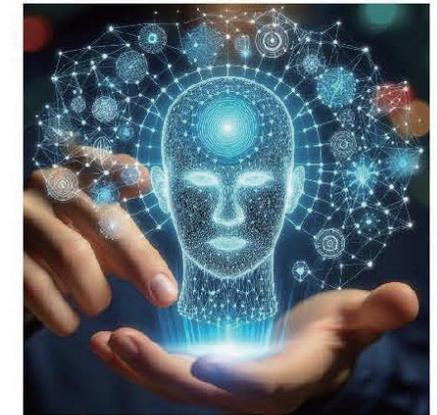
2・X推進人材育成:新規事業・業務改善のための生成AI活用データサイエンス研修

コマ	時間数	テーマ	内容
1	1	イントロダクション：企業がビジネス環境の激しい変化に対応する為の推進するDXに不可欠な生成AI取り組みと3つのフェーズ	<ul style="list-style-type: none"> □DXを推進する企業における生成AIの位置づけ フェーズ1：生成AI利用基盤の導入と業務上の活用 フェーズ2：生成AIを活用した業務の高度化・効率化 フェーズ3：生成AIを活用したビジネスモデル変革・価値創造の理解
2	2	生成AIの事業ドメイン活用事例 生産性や付加価値の向上等ビジネス機会を引き出す可能性を知る。生成AI（基盤モデル）の、様々な可能性とベンチマークを知る	<ul style="list-style-type: none"> □生成AIによる、ビジネスモデル構築と中小企業における活用事例（商業施設、不動産・建設業、IT系コールセンター、人材派遣・人材紹介業、広告業界、1to1マーケティング）などの事例からベンチマークを知る。
3	2	生成AIを活用のキーワード「プロンプト(AIに特定の指示や入力を与えるためのテキストや情報)の理解と運用、要件定義と フィルタリング	<ul style="list-style-type: none"> □プロンプトの使い方： 前提条件①ペルソナ②ファクター③アウトプット形式④シーン等の「5W1H」の要件。成果物の正確性、創造性、情報量、目的意図の一致感などの重要性
4	2	業務効率化のための生成AI活用：イノベーションと活用/開発/提供を目的とする「マルチモーダル連携」(Multimodal Integration/Collaboration)	<ul style="list-style-type: none"> □文章生成・データ分析・実際の業務プロセスへの活用： 画像と生成AIの連携：画像認識や編集、声と生成AIの連携：音声認識、音声合成。オフィスソフトと生成AIの連携：文書作成支援（例：AIが文章を生成してPowerPointやWordに組み込む）、Excelのデータ分析や自動化。
5	1.5	問題の特定と要件定義：生成AI活用タスク「業務課題・データドリブン課題の抽出と生成AIソリューション、	<ul style="list-style-type: none"> □B2CビジネスにおけるAI活用事例 ①飲食店、事例②歯科医 ※AI活用法ソリューション20の確認と応用
6	1.5	「生成AIによるサービスプロフィットチェーンの構成とMFT(Market・Function・Technology)フレーム ビジネスモデル変革と価値創造	<ul style="list-style-type: none"> □生成AIを活用した新規事業・サービスの創出 ビジネス戦略の再構築, AIを活用した新規ビジネスの考察

3・本講座の目的

- 生成AIを活用しDX推進を図るための学習ポイント。
 - ・生成AIの効果的活用に必須：プロンプト（命令文）の理解
 - ・生成AIの可用性：アプリケーションとの連携
 - ・生成AIが得意とする：データ分析手法、意思決定支援・精度向上

- 本講座を受講することで：
 - ・業務の自動化、効率化
 - ・データ分析の高度化と精度向上
 - ・パーソナライズされたマーケティング
 - ・データ補完と新しい洞察
 - ・新たなビジネス機会の創出
の取り組みを可能に



生成AI研修：キーワード

オフィスソフト	分析	リサーチ
画像ソフト	開発	チャット
動画ソフト	Web	クリエイティブ

4・中小企業がDX推進する上で、“生成AIを活用したデータサイエンス”の必要性

1.業務の自動化と効率向上

生成AIはデータ処理やレポート作成を自動化し、従業員の負担を軽減します。例えば、経理業務や顧客対応のチャットボットを導入することで、コスト削減と生産性向上が可能になります。

2.データ分析の高度化と精度向上

AIが複雑なデータを解析し、隠れたパターンを発見することで、より正確な市場予測や売上分析が可能になります。これにより、経営判断の質が向上し、競争力の強化につながります。

3.パーソナライズされたマーケティング

生成AIを活用して顧客データを分析し、個別のニーズに合わせたマーケティング施策を展開できます。例えば、顧客の購買履歴をもとに最適な商品レコメンドを自動生成することで、売上の向上が期待できます。

4.データ補完と新しい洞察の創出

欠損データをAIが補完し、過去のデータをもとに未来の傾向を予測することで、より正確な意思決定が可能になります。これにより、DX戦略の成功確率が高まります。

5.新たなビジネス機会の創出

生成AIを活用することで、データをもとに新しいサービスやビジネスモデルを考案することができます。例えば、AIによる自動コンテンツ生成やインサイト提供により、企業の競争優位性を確立することができます。

5・事務作業/通常業務における生成AI活用メリット

生産性UP：

データ整理や事務作業をAIに任せれば、時間を節約。優先順位の高い仕事に取り組みます。

調べものが速くなる：

AIに質問すれば、必要な情報をすぐに集められるので、検索に時間をかけずに済みます。

スケジュール管理：

AIに「来週の会議の日程をまとめて」と頼むと、自動でカレンダーに整理してくれます

ミスが減る：

AIは計算やデータ処理が得意なので、うっかりミスを防げます。契約書や報告書の誤字脱字をAIが確認し、ミスを減らせます。

意思決定の支援：AIは膨大なデータを分析し、トレンドや市場動向を把握するのに役立ちます。これにより的確な判断を下し、戦略的な仕事に専念できます

アイデアが出しやすくなる：

企画やプレゼン資料を作るときに、AIにヒントをもらうことで新しい発想が生まれやすくなります。

コミュニケーションがスムーズに：

AIによる翻訳や文章作成ツールを使えば、メールや報告書がわかりやすくなり、伝えたいことがより正確に伝わります。

提案書やプレゼン資料の作成補助：

AIに「こんな商品売りたいたいんだけど、企画書作成して」と概要を入力すれば、企画書形式に構成し回答します。

顧客情報の分析：

AIを使えば、過去の取引データから「このお客さんには〇〇を提案すると喜ばれるかも」と予測できます

クリエイティブな発想の補助：

アイデアを出す際にAIと対話することで、新たな視点を得たり、斬新なアイデアを生み出したりすることができます。

※賢さを極めたAIは、瞬時に膨大な情報を整理し、人間の思考を支援する頼れるパートナーであり、スーパーアシスタントの役割をします。

1) テーマ説明、

講師からの説明：
様々な情報提供
専門用語を使わず
分かりやすい言葉で
事例の紹介も含めて、
具体的に説明します。



3) グループディスカッション

テーマに対して、
ブレインストーミング方式等で
意見の出やすい、環境を準備
進行などの役割分担も
チームワーク構築に
役立ちます。



2) ご自身の気づきが大切

テーマについて考え
自分が答えを導き出す
周りで話している中で気付く。

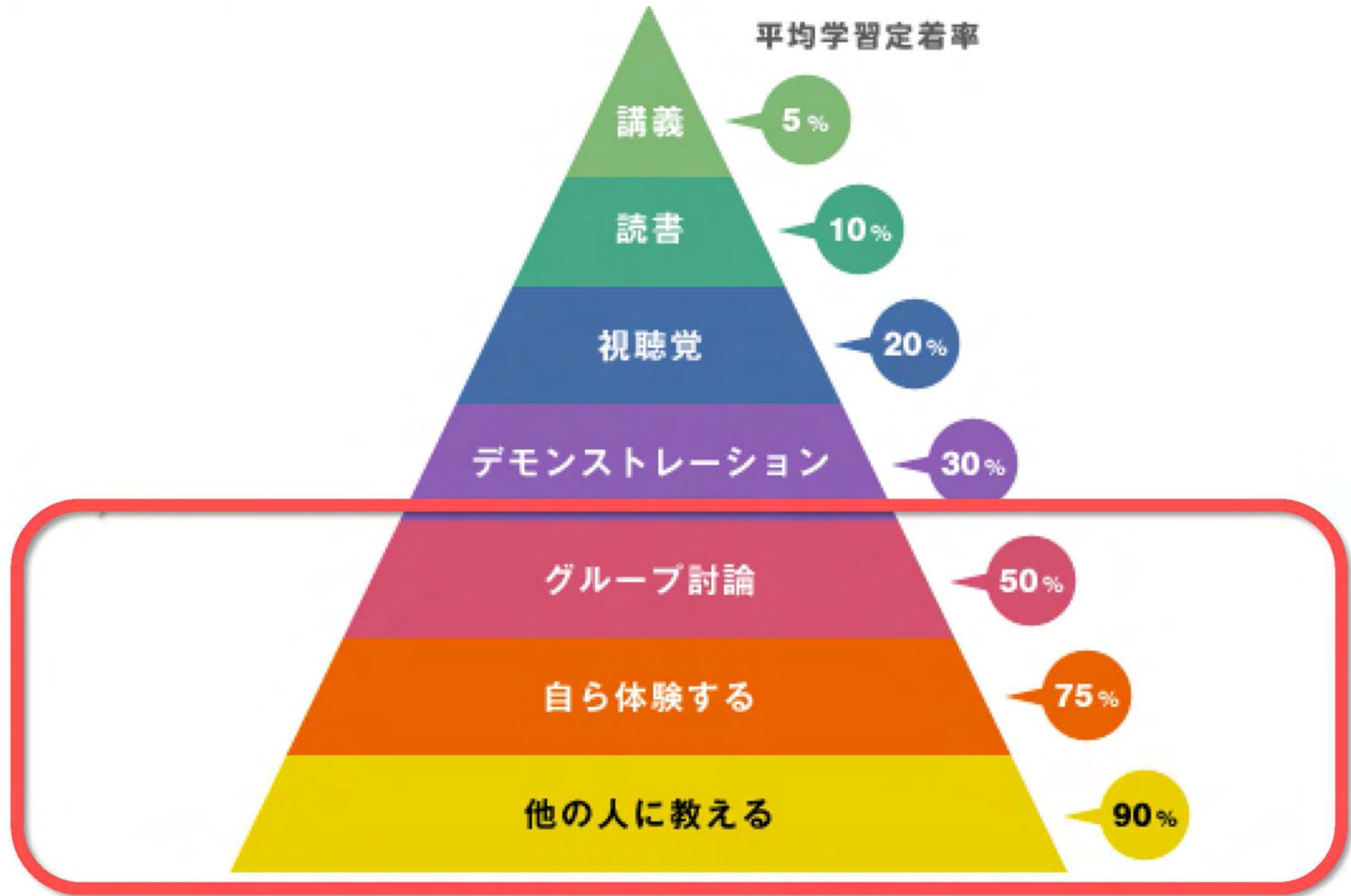
また、様々なシートの活用で
ご自身の考えを導き出し
気づきながら実践に活用！



4) 発表と実践

皆さんが習得した
スキル・知識は
楽しみながら
活用できるはず
発表やロープレ等
によるOUTPUTで
ご自身での納得を
図ります。





ラーニングピラミッド

※出典: The Learning Pyramid. アメリカ National Training Laboratories

8・研修概要

■研修概要

- 1) 訓練名称：【DX推進人材育成：新規事業・業務改善のための生成AI活用データサイエンス研修】
- 2) 日程： 1日目 月 日 13時～18時(5時間)
2日目 月 日 13時～18時(5時間) 合計10時間
- 3) 時間数：10時間
- 4) 参加人数： 名
- 5) 費用：1名 40万円(税別)
- 6) 研修内容：研修案内企画書：1P～3P参照
- 7) 主催：株式会社 ビジネス・プロデュース
【所在地】 大阪市西区阿波座1-15-16 キャビン西本町ビル1001号室 (11月26日より)
Tel 06-6147-3868 Fax 06-6147-3878
- 8) 訓練場所：ZOOM方式